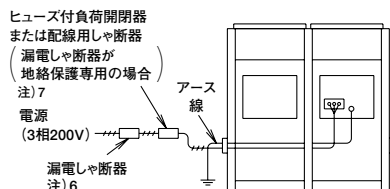


■機外配線要領

REYP400AA・450AA

機種名	分岐開閉器・過電流しゃ断器									電源配線（金属管・合成樹脂管配線） 下図参照		基準電流値
	漏電しゃ断器（地絡・過負荷・短絡保護兼用）使用の場合				配線用しゃ断器使用の場合		ヒューズ付負荷開閉器使用の場合					
	定格電流	定格感度電流	動作時間	接地線（銅） mm ² 以上	定格電流（A）	接地線（銅） mm ² 以上	開閉器容量（A）	ヒューズ容量（A）	接地線（銅） mm ² 以上	最小太さ	最大こう長	
REYP400AA	100A	100mA	0.1sec以下	5.5（φ2.6mm）	100	5.5（φ2.6mm）	100	75	5.5（φ2.6mm）	38mm ²	63m	75A
REYP450AA	100A	100mA	0.1sec以下	5.5（φ2.6mm）	100	5.5（φ2.6mm）	100	75	5.5（φ2.6mm）	38mm ²	63m	75A

●配線要領 下図のように配線してください。



●室外～室内間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル（0.75～1.25mm²、2心線）

シース付ビニルコード及びケーブルの例	
VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
CVS	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312

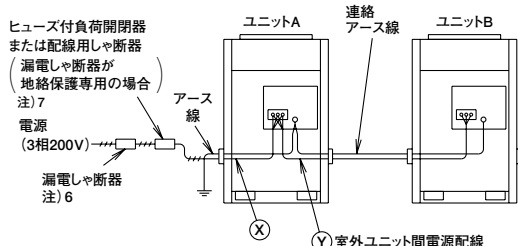
- 注）
- 1.配線要領は内線規程（JEAC8001）に基づいて決められています。
 - 2.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
 - 3.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
 - 4.ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
 - 5.漏電しゃ断器または配線用しゃ断器の定格しゃ断容量は、現地の設備、工事内容によりそれぞれ異なりますので、しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算（推定）し、充分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701「低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量」が発行されていますので、それに基づいて現地設備と工事の施工内容に適合するしゃ断器を選定してください。
 - 6.漏電しゃ断器は必ず設置してください。
 - （本機はインバータ装置を有しており、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。）
 - 7.漏電しゃ断器で地絡保護専用の場合は、ヒューズ付負荷開閉器または配線用しゃ断器と組合わせて使用してください。
 - 8.室外～室内間連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
 - 9.電源配線と連絡配線は必ず離してください。
 - 10.連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 - ・最長配線長1000m以下・総配線長2000m以下・最大分岐数16分岐まで
 - ・連絡配線の分岐は最大16分岐まで可能ですが分岐後の分岐はできません。
 - 11.基準電流値とは、上表の機外配線選定の際に使用した数値で、運転範囲中の最大電流値を示します。

REYP500AA・560AA・615AA・690AA・730AA・800AA・850AA・900AA

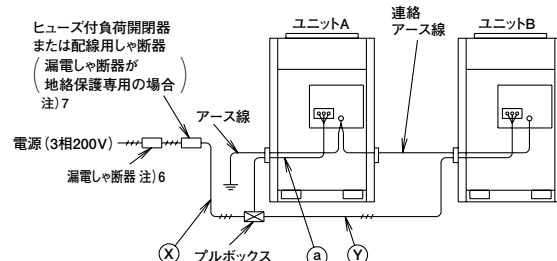
システム機種名	構成機種名		分岐開閉器、過電流しゃ断器									電源配線（金属管・合成樹脂管配線） 下図参照						基準電流値
	ユニットA	ユニットB	漏電しゃ断器（地絡、過負荷、短絡保護兼用）使用の場合			配線用しゃ断器使用の場合		ヒューズ付負荷開閉器使用の場合			①		②		③			
			定格電流	定格感度電流	動作時間	接地線（銅）mm ² 以上	定格電流（A）	接地線（銅）mm ² 以上	開閉器容量（A）	ヒューズ容量（A）	接地線（銅）mm ² 以上	最小太さ	最大こう長	最小太さ	最大こう長	最小太さ	最大こう長	
REYP500AA	REMP280AA	REMP224AA	100A	100mA	0.1sec以下	5.5 (φ2.6mm)	100	5.5 (φ2.6mm)	100	75	5.5 (φ2.6mm)	22mm ²	41m	14mm ²	59m	14mm ²	47m	68A
REYP560AA	REMP335AA	REMP224AA	100A	100mA	0.1sec以下	5.5 (φ2.6mm)	100	5.5 (φ2.6mm)	100	75	5.5 (φ2.6mm)	38mm ²	65m	14mm ²	59m	14mm ²	41m	73A
REYP615AA	REMP335AA	REMP280AA	125A	100mA	0.1sec以下	8	125	8	100	100	5.5 (φ2.6mm)	38mm ²	59m	22mm ²	75m	22mm ²	65m	80A
REYP690AA	REMP335AA	REMP335AA	125A	100mA	0.1sec以下	8	125	8	100	100	5.5 (φ2.6mm)	38mm ²	55m	22mm ²	65m	22mm ²	65m	86A
REYP730AA	REMP450AA	REMP280AA	125A	100mA	0.1sec以下	8	125	8	100	100	5.5 (φ2.6mm)	38mm ²	48m	22mm ²	75m	22mm ²	46m	98A
REYP800AA	REMP450AA	REMP335AA	150A	100mA	0.1sec以下	8	150	8	100	100	5.5 (φ2.6mm)	60mm ²	73m	38mm ²	110m	38mm ²	78m	104A
REYP850AA	REMP450AA	REMP400AA	175A	100mA	0.1sec以下	14	175	14	200	125	8	60mm ²	62m	38mm ²	78m	38mm ²	78m	122A
REYP900AA	REMP450AA	REMP450AA	175A	100mA	0.1sec以下	14	175	14	200	125	8	60mm ²	62m	38mm ²	78m	38mm ²	78m	122A

●配線要領 下図のように配線してください。

〔電源が室外ユニット～室外ユニットを渡る場合〕



〔電源をブルボックスで分岐する場合〕



●外マルチ連絡配線（室外～室外間）

シース付ビニルコード又は、ケーブル（0.75～1.25mm²、2心線）

●室外～室内間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル（0.75～1.25mm²、2心線）

シース付ビニルコード及びケーブルの例	
VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
CVS	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312

- 注）
- 1.配線要領は内線規程（JEAC8001）に基づいて決められています。
 - 2.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
 - 3.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
 - 4.ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
 - 5.漏電しゃ断器または配線用しゃ断器の定格しゃ断容量は、現地の設備、工事内容によりそれぞれ異なりますので、しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算（推定）し、充分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701「低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量」が発行されていますので、それに基づいて現地設備と工事の施工内容に適合するしゃ断器を選定してください。
 - 6.漏電しゃ断器は必ず設置してください。
 - （本機はインバータ装置を有しており、漏電しゃ断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。）
 - 7.漏電しゃ断器で地絡保護専用の場合は、ヒューズ付負荷開閉器または配線用しゃ断器と組合わせて使用してください。
 - その場合ヒューズ容量または配線用しゃ断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電しゃ断器を使用してください。
 - 8.室外～室内間連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
 - 9.電源配線と連絡配線は必ず離してください。
 - 10.連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 - ・最長配線長1000m以下・総配線長2000m以下・最大分岐数16分岐まで
 - ・連絡配線の分岐は最大16分岐まで可能ですが分岐後の分岐はできません。
 - 11.本システムは室外ユニット複数台を接続しますが、電源配線などの順番は本図に示すユニットA、ユニットBの順番を厳守してください。
 - 12.基準電流値とは、上表の機外配線選定の際に使用した数値で、運転範囲中の最大電流値を示します。

冷暖フリービル用マルチVe-upⅢR／機外配線要領

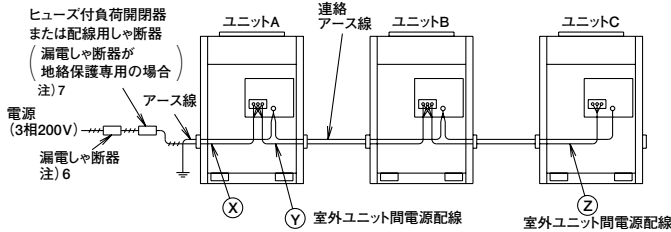
■機外配線要領

REYP950AA・1000AA

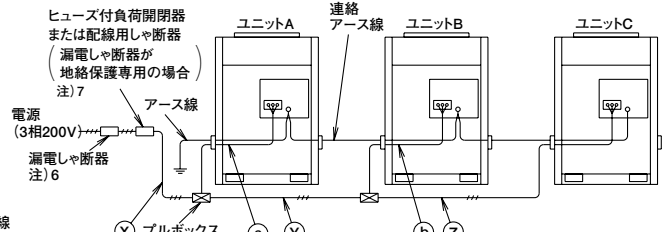
システム機種名	構成機種名			分岐開閉器、過電流遮断器							電源配線（金属管・合成樹脂管配線）下図参照										基準電流値			
	ユニットA	ユニットB	ユニットC	漏電・遮断器 定格電流 動作時間		接地線（銅）mm ² 以上		配線用・遮断器使用の場合 定格電流（A）		接地線（銅）mm ² 以上		ヒューズ付負荷開閉器使用の場合 ヒューズ容量（A）		接地線（銅）mm ² 以上		①		②		a		b		
				最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ		最大太さ	最小太さ	最大太さ
REYP950AA	REMP450AA	REMP280AA	REMP224AA	175A	100mA	0.1sec以下	14	175	14	200	125	8	60mm ²	59m	38mm ²	70m	38mm ²	158m	38mm ²	78m	38mm ²	126m	128A	
REYP1000AA	REMP450AA	REMP335AA	REMP224AA	175A	100mA	0.1sec以下	14	175	14	200	150	8	60mm ²	57m	38mm ²	65m	38mm ²	158m	38mm ²	78m	38mm ²	110m	134A	

●配線要領 下図のように配線してください。

〔電源が室外ユニット～室外ユニットを渡る場合〕



〔電源をプルボックスで分岐する場合〕



注)

- 1.配線要領は内線規程（JEC8001）に基づいて決められています。
- 2.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
- 3.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
- 4.ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
- 5.漏電・遮断器または配線用遮断器の定格電流と断容量は、現地の設備、工事内容によりそれぞれ異なりますので、しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算（推定）し、充分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEC8701「低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量」が発行されていますので、現地設備、工事内容に適合するしゃ断器を選定してください。
- 6.漏電・遮断器（高調波対応品）は必ず設置してください。（本機はインバータ装置を有しており、漏電・遮断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。）
- 7.漏電・遮断器で地絡保護専用の場合は、ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合わせて使用してください。その場合ヒューズ容量または配線用遮断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電・遮断器を使用してください。
- 8.室外～室内間連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
- 9.電源配線と連絡配線は必ず離してください。
- 10.連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 - ・最長配線長1000m以下・総配線長2000m以下・最大分岐数16分岐まで
 - ・連絡配線の分岐は最大16分岐まで可能ですが分岐後の分岐はできません。
- 11.本システムは室外ユニット複数台を連結しますが、電源配線わたりの順番は本図に示すユニットA、ユニットB、ユニットCの順番を厳守してください。
- 12.基準電流値とは、上表の機外配線選定の際に使用した数値で、運転範囲中の最大電流値を示します。

●外マルチ連絡配線（室外～室外間）

シース付ビニルコード又は、ケーブル（0.75～1.25mm²、2心）

●室外～室内間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル（0.75～1.25mm²、2心）

シース付ビニルコード及びケーブルの例

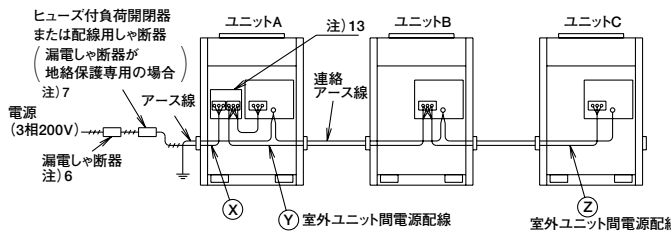
VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
CVS	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312

REYP1090AA・1120AA・1180AA・1250AA・1320AA・1360AA

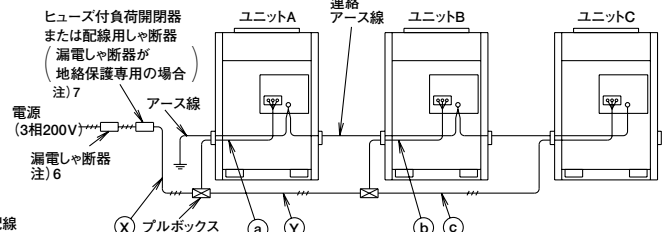
システム機種名	構成機種名			分岐開閉器、過電流・遮断器										電源配線（金属管・合成樹脂管配線）下図参照										基準電流値		
	ユニットA	ユニットB	ユニットC	漏電・遮断器、過負荷、短絡保護兼用 使用の場合			配線用・遮断器使用の場合			ヒューズ付負荷開閉器使用の場合				X		Y		Z		a		b			c	
				定格電流	定格電流	動作時間	接地線（銅）mm ² 以上	定格電流（A）	接地線（銅）mm ² 以上	開閉容量（A）	ヒューズ容量（A）	接地線（銅）mm ² 以上	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ	最大太さ	最小太さ		最大太さ	最小太さ
REYP1090AA	REMP450AA	REMP335AA	REMP280AA	200A	100mA	0.1sec以下	14	200	14	200	150	8	100mm ²	91m	38mm ²	59m	38mm ²	126m	38mm ²	78m	38mm ²	110m	38mm ²	126m	141A	
REYP1120AA	REMP450AA	REMP335AA	REMP335AA	200A	100mA	0.1sec以下	14	200	14	200	150	8	100mm ²	88m	38mm ²	55m	38mm ²	110m	38mm ²	78m	38mm ²	110m	38mm ²	110m	147A	
REYP1180AA	REMP450AA	REMP450AA	REMP280AA	200A	100mA	0.1sec以下	14	200	14	200	200	14	100mm ²	81m	60mm ²	77m	38mm ²	126m	38mm ²	78m	38mm ²	78m	38mm ²	126m	159A	
REYP1250AA	REMP450AA	REMP450AA	REMP335AA	225A	200mA	0.1sec以下	22	225	22	200	200	14	100mm ²	78m	60mm ²	73m	22mm ²	126m	60mm ²	125m	60mm ²	125m	60mm ²	177m	165A	
REYP1320AA	REMP450AA	REMP450AA	REMP400AA	225A	200mA	0.1sec以下	22	225	22	200	200	14	100mm ²	72m	60mm ²	62m	22mm ²	126m	60mm ²	125m	60mm ²	125m	60mm ²	125m	179A	
REYP1360AA	REMP450AA	REMP450AA	REMP450AA	225A	200mA	0.1sec以下	22	225	22	200	200	14	100mm ²	72m	60mm ²	62m	22mm ²	126m	60mm ²	125m	60mm ²	125m	60mm ²	125m	179A	

●配線要領 下図のように配線してください。

〔電源が室外ユニット～室外ユニットを渡る場合〕



〔電源をプルボックスで分岐する場合〕



注)

- 1.配線要領は内線規程（JEC8001）に基づいて決められています。
- 2.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
- 3.電源配線（金属管・合成樹脂管配線）のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
- 4.ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
- 5.漏電・遮断器または配線用遮断器の定格電流と断容量は、現地の設備と工事内容によりそれぞれ異なりますので、しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算（推定）し、それに充分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEC8701「低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量」が発行されていますので、工事内容に適合するしゃ断器を選定してください。
- 6.漏電・遮断器（高調波対応品）は必ず設置してください。（本機はインバータ装置を有しており、漏電・遮断器自体の誤動作を防止するため、高調波対応品を使用してください。）
- 7.漏電・遮断器で地絡保護専用の場合は、ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合わせて使用してください。その場合ヒューズ容量または配線用遮断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電・遮断器を使用してください。
- 8.室外～室内間連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
- 9.電源配線と連絡配線は必ず離してください。
- 10.連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 - ・最長配線長1000m以下・総配線長2000m以下・最大分岐数16分岐まで・連絡配線の分岐は最大16分岐まで可能ですが分岐後の分岐はできません。
- 11.本システムは室外ユニット複数台を連結しますが、電源配線わたりの順番は本図に示すユニットA、ユニットB、ユニットCの順番を厳守してください。
- 12.太い電源線から細い電源線に分岐する場合は、内線規程（JEC8001）により長さ8m以下としてください。
- 13.電源が室外ユニット～室外ユニットを渡る場合は、別途電源配線分岐キットが必要です。
- 14.基準電流値とは、上表の機外配線選定の際に使用した数値で、運転範囲中の最大電流値を示します。